

令和4年度 第3回 西淀川区地域福祉推進会議議事要旨

令和5年3月15日
午後6時30分～8時
区役所5階会議室

出席委員 16名

助言者 鈴木大介さん（大阪成蹊短期大学幼児教育学科准教授）

事務局 区役所 貴志保健福祉課長、井岡保健福祉課長代理、岡地保健福祉担当係長
区社協 麻井事務局長、西川地域支援担当係長、金子

1. あいさつ

伊原委員長

2. 各部会からの報告

「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」

- 部会：6回
- 登録者：24名、活動者：10名（継続中）、4名（1回以上参加）
- 活動先：10施設（清掃・こども食堂での調理補助・エコキャップ洗浄など）
- ステキなもの：「ちょこ助チケット」を作成予定（10ポイント＝100円）
「にしよどマーケット」で使用可能（活動先となっている施設もあるため）
- 啓発：きらりにしよど1月号、御幣島駅や図書館など区内施設にチラシ設置
- 課題：登録説明会の参加者が0～1名であることが多く、周知の方法の検討が必要
事務局対応となってしまうことで、他の活動者との繋がりを持つ機会がない
→活動者同士・活動者と活動先との交流の機会を検討する
- その他：12月7日(水) 施設説明会 1施設参加（放課後等デイサービス）
1月17日(火) 登録説明会 1名参加（1名登録）

「となりのお節介さん」

- 部会：7回
- 認定会：3回（認定者：11名、登録につながった方：6名、インタビュー：4名）
- グッズ：認定バッジを作成
- 啓発：西淀川区広報紙「きらり☆にしよど」への掲載、チラシの配布 など
- 課題：区民の認知度の低さ、申請者数の低迷
登録につながってもインタビューに至らない方もいる
ボランティア活動者のみでなく、人知れず地域活動している方を認定したい
- その他：活動内容などを広報紙や西淀川区社会福祉協議会のHPで紹介
今後「となりのお節介さん」の交流会などを企画し、活動を応援
オリジナルしゃもじを持って活動先に出向いていきたい

「ウエルカムバンク」

- 部会：8回
- 「数珠つなぎインタビュー」を継続実施40名
10カ国（スリランカ、中国、ネパール、ミャンマー、パキスタン、ブラジル、
ベトナム、フィリピン、バングラデッシュ、インドネシア）
- 「にほんごカフェ」をR4.9から月2回開催
5か国延べ13名の方が利用（内3名がリピーター）
- 交流会：ラマダン明けの5月にイスラミックセンターで実施計画中
- 啓発：チラシ配布（ベトナム料理店&物産店・ペルー物産店等）、日本語学校（3校）
- 課題：周知不足
出張・出前「にほんごカフェ」を「ボランティアエキスポ（5/28）」に実施
- その他：にほんごカフェから風の輪へつながったケースもある
→基本目標「届ける」に合った活動となっているのではないか

【委員コメント】

- 3部会ともに周知不足が課題となっているため、区役所 Youtube など動画を活用した広報やボランティアエキスポのブース出展を活かすのはどうか？

【鈴木先生コメント】

- ちょこ助の「ステキなもの」は社会貢献・SDGsの取り組みの一環として交換できるものを募るのはいかがでしょうか
- 「となりのお節介さん」のしゃもじや缶バッチはインパクトがある
インタビュー報告のみではなく、そこに至るまでの経緯もドキュメント的にあれば面白い
- 「数珠つなぎインタビュー」で人とのつながりをつくることで、何かあれば立ち返ることができる

3. 計画の評価について

ア) 評価委員会の開催

日時 令和4年12月12日（月）

令和5年 2月 8日（水）

3月 1日（水）

内容 評価の手法等について

委員 池田委員・鴻上委員・福田委員・藤江委員・藤浪委員・吉見委員

助言者 鈴木准教授

イ) 評価の流れ

「知ってること」シートの作成依頼（R5.1.4～1.20）

R5.2.8 「知ってること」シートの分類・確認・補足

R5.3.1 評価案の作成

R5.3.15 評価シートの提案

追記・修正（～R5.3.24）

R5.3 末 推進委員に評価シート記入依頼（～R5.4.17）

R5.5.15 委員ごとの評価を集約し、中項目ごとの評価案を作成

ウ) 評価の手法

- 中項目ごとの達成度、実践度をはかる
- 評価点そのままにつながるのではなく、評価の材料となる
- 「評価のポイント」に基づいて認知度と評価点をつける
- 「知らない」ということも評価の一つとなる

4. あいさつ

- 西淀川区保健福祉課長：貴志嘉範
- 西淀川区社協事務局長：麻井 郁

次回：令和5年6～7月頃